



あらかわのモノづくりの現場を見に行こう!

峡田小学校6年生のジュニア記者が、おりあみを作っている石川金網の工場取材しました。工場ではおりあみ以外にも、自動車内部のフィルターとして使われる金網などが作られています。普段は見ることのできない工場の裏側を見せてもらいました。

おじゃまします

入り！

おりあみって どうやって作るの？

石川金網株式会社は、1922年の創業から90年以上も金網の製造と販売を行っている歴史ある企業です。おりあみが誕生したきっかけは、職人さんの遊び心で、工業用の金網で折り鶴を折ったところ、社内で評判になったことで、その後商品化することになりました。薄く繊細なおりあみが、どのようにしてできあがるのか見てみましょう。

金網の材料を見つけた！

▼ケガをしないように革手袋をして工場へ。ロール状の金網を持ってみると、ずっしり重い！



貴重な瞬間をカメラで撮影するよ

秋山哲平くん

スタート！

石川金網株式会社

▶いよいよ取材スタート。一眼レフのカメラを持って気合い十分！
▼「今日はよろしくお願いします！」と、工場を案内してくれる工場長の奥津学さんにごあいさつ



初めての工場見学に行きます！



塚野陽菜さん

挑戦！

「石川ローズ」を折ってみよう！

おりあみ体験開始！

▲折り図を見ながら作ります。間違えてもやり直せるので大丈夫！



いよいよ、おりあみ体験！上手に折れるかな？



許子夷さん

おりあみの素材を横に裁断！

▼設定した幅に裁断したあとは、自動で巻き取られます

▲自動スリッター機でおりあみの素材を裁断。ジュニア記者は、安全な距離から見学します



おりあみの素材を縦に裁断！

▼あっという間に100枚のおりあみに裁断されます

▲素材を別の裁断機で縦に裁断して正方形に。その様子を見守ります



おりあみ完成！

▲金網とは思えないしなやかさ！色もとてもキレイ



ここで検品します

破れたり傷ついたりしたものが混ざっていないか、職人さんが丁寧に確かめます。



石川金網株式会社
荒川区荒川5-2-6 ☎3807-9761

1面のイノシシと鶴のおりあみ作品は、日本折紙協会認定講師・日本折紙学会折紙指導員を務める宮本眞理子先生の作品です。

おりあみを教えてくれた指導員の仲喜久雄さん

だんだん、バラの形になってきた！

▲お互いに教え合いながら、おりあみを楽しみ秋山くんと森くん



キレイなバラを完成させるぞ！



森智哉くん

ゴール！

感想を聞きました！

テレビで紹介されたおりあみを初めて見ました。キレイなバラができてうれしいです。

紙の折り紙と違って難しいところもあったけど、とても楽しかったです。

木器用で折り紙が苦手な僕もバラが折れました。次は鶴も折りたいな。

仲さんの「石川ローズ」の折り方の説明がわかりやすかったです。おりあみってすごい！



荒川区は、戦前から産業の街として多種多様な産業が発展しており、中でもモノづくりの企業の割合が高いことが特徴です。しかし、年々、モノづくりの企業は減少しています。荒川区のモノづくりには、世界に通用する高い技術があり、次の世代へつなげていく必要があります。

荒川区にある「モノづくり見学・体験スポット」を探そう！

区内には石川金網だけでなく、たくさんのモノづくりの企業があります。「モノづくり見学・体験スポット」では、工場・工房で製造工程の見学やモノづくりの体験ができます。詳しくは「モノづくり見学・体験スポットガイド」を見てね。

※必ず事前に電話予約をしましょう。認定看板が自印です。

詳しくはこちら

問合せ 観光振興課 内線461

